大型ブロック積擁壁

ビッグスケール２型 R対応型

NETIS QS-120014-A

特　長

1. R施工が容易
隣会うブロックを重ねながら施工するため、R施工が容易です。

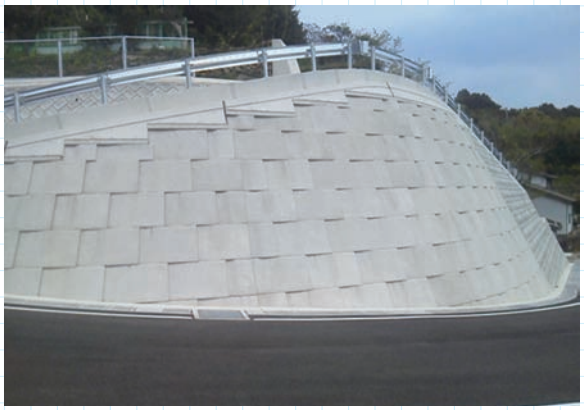
2. 現場打が不要
内R・外R施工の時にできる開きは、重ねながら施工をするため、現場打が不要となります。

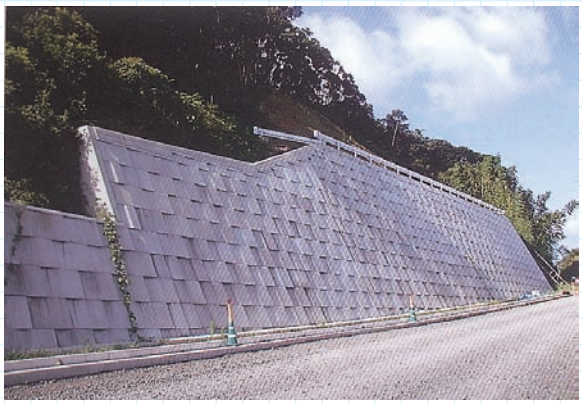
3. 景観性に優れる
R施工時でもブロック間に隙間が発生せず又、表面に水抜きが無いため景観性に優れます。

4. 大きな土圧に対応
控え550mm～3000mmの大きな土圧に対応できるブロックです。

5. 軽量化
ブロック部材重量が軽量のため、施工が容易に行えます。

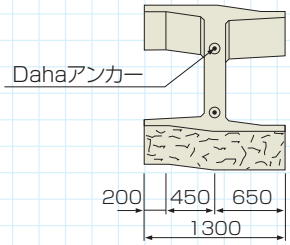
■施工例



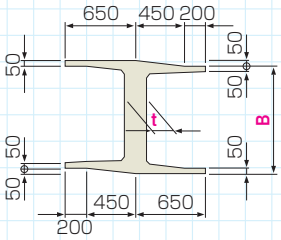


A型（標準）

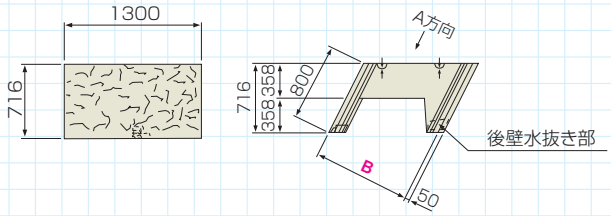
平面図



A方向矢視図



正面図

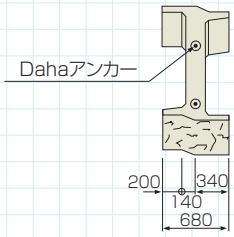


●寸法表（A型）　（単位：mm）

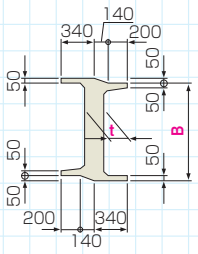
サイズ	B	t	参考質量(kg)
550 A	550	200	480
750 A	750	200	519
1000 A	1000	200	567
1500 A	1500	250	738
2000 A	2000	300	956
2500 A	2500	300	1100
3000 A	3000	300	1256

B型（端部）

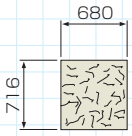
平面図



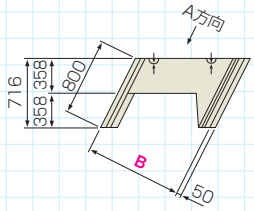
A方向矢視図



正面図



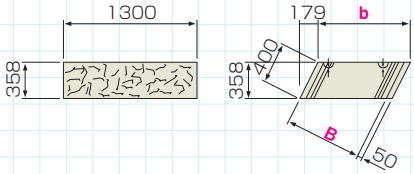
側面図



●寸法表（B型）　（単位：mm）

サイズ	B	t	参考質量(kg)
550 B	550	200	296
750 B	750	200	334
1000 B	1000	200	382
1500 B	1500	200	478
2000 B	2000	200	574
2500 B	2500	200	670
3000 B	3000	200	766

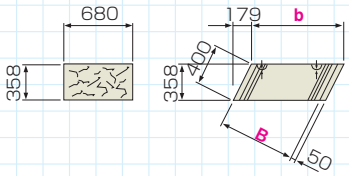
C型（天端用）



●寸法表（C型）　（単位：mm）

サイズ	B	b	参考質量(kg)
550 C	550	671	262
750 C	750	894	301

D型（天端用）

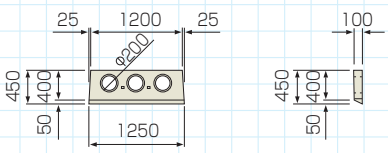


●寸法表（D型）　（単位：mm）

サイズ	B	b	参考質量(kg)
550 D	550	671	168
750 D	750	894	206

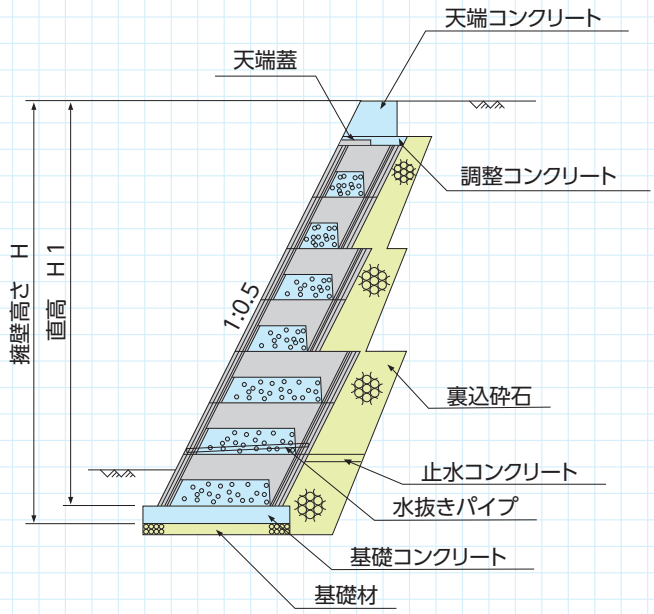
天端蓋

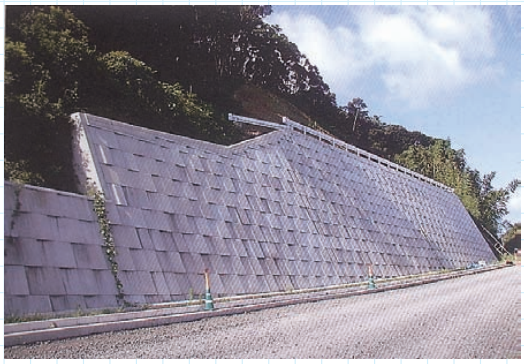
参考質量100kg



ビッグスケール2型 R対応型

●標準施工図





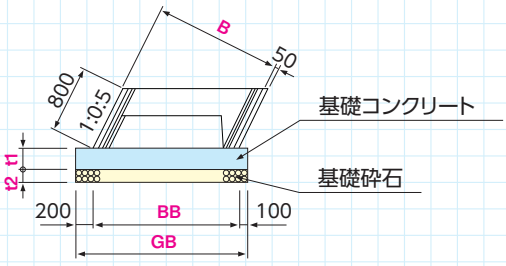
●標準敷設
ブロックの標準合わせの位置に
前後重ね施工する。

●外R敷設
ブロックの重ね合わせを前壁より
後壁を多く重ね施工する。

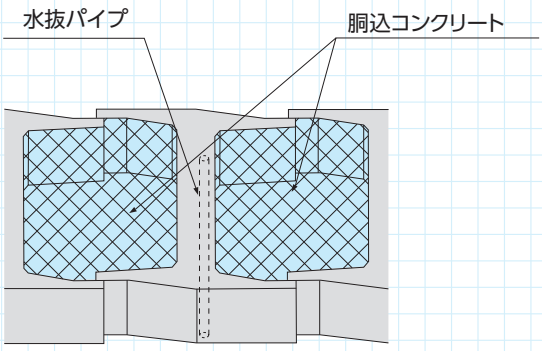
●内R敷設
ブロックの重ね合わせを後壁より
前壁を多く重ね施工する。

●数量表

基礎工図



施工平面図

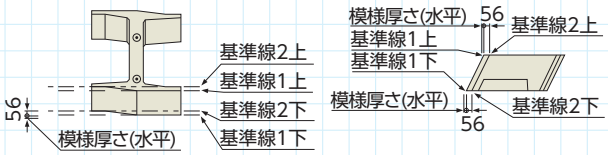


●寸法表

呼び名	B	BB	GB	t1	t2	参考質量 (kg)	パイプの長さ (m)	胴込コンクリート (㎥)	基礎材 (㎥)	基礎コンクリート (㎥)	基礎型枠 (㎡)
550A	500	671	971	200	150	480	0.615	0.369	9.71	1.94	4.00
750A	750	894	1194	200	150	519	0.839	0.554	11.94	2.39	4.00
1000A	1000	1174	1474	200	150	567	1.118	0.784	14.74	2.95	4.00
1500A	1500	1733	2033	250	150	738	1.677	1.214	20.33	5.08	5.00
2000A	2000	2292	2592	300	150	956	2.236	1.623	25.92	7.78	6.00
2500A	2500	2851	3151	350	150	1100	2.795	2.064	31.51	11.03	7.00
3000A	3000	3410	3710	400	150	1256	3.354	2.443	37.10	14.84	8.00

●施工要領

❶ 基準点（写真1）



❷ 基礎工

基礎コンクリート天端は十分に整正し、所定の高さまで平坦に仕上げて下さい。

❸ 墨付け（写真2）

ブロックの基準線1、2に合わせる基準線を基礎上にマーキングして下さい。

❹ 本体ブロック1段目の据付

1個目の製品は、ブロック端を起点に合わせ、ブロック前面の右端基準線1を基礎の基準線1上に、ブロック左端基準線2の位置を基礎の基準線2上に合わせて据付けて下さい。
2個目からは、隣合うブロックとの重なり寸法を考慮しながら据付けます。
製品前壁右側の天端に所定の重なり寸法位置をマーキングします。（写真3）

❺ 裏込材投入

❻ 胴込コンクリートの打設（写真4）

製品の高さの1/2 ～ 2/3までで打ちとめ、よく締め固めます。

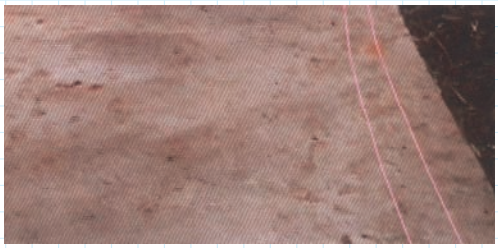
❼ 本体ブロック2段目以降の据付

2段目以降の製品は、下段の上面の基準線1・2と上段の製品下面の基準線1・2を合わせ据付けて下さい。

❽ 天端施工（写真5）

所定の方法で天端蓋及び
天端のコンクリートを施します。

●写真1



●写真2

●写真3

●写真4

●写真5